

# 家庭菜園相談室

今月の  
テーマ

## 野菜の品目・品種って何だろう？

スーパーで買い物をするとき、野菜コーナーに並んでいるダイコン、キュウリ、ハクサイ、キャベツ、ナス、ジャガイモなど、これらのおなじみの野菜の名前ですが、これらは野菜の品目と呼んでいます。

また、ひとくちにジャガイモといっても、キタアカリ、メークインなどといった名前や、聞きなれない変わった名前のジャガイモも売られていることがあります。これが品種です。

皆さんが知っている品種の他にも、用途に合わせてたくさんの品種があります。

例

### サツマイモ

- ・安納芋=ねっとりして、ものすごく甘いとして有名
- ・鳴門金時=関西方面では主力
- ・紅はるか=ほかのイモよりはるかに甘いとして有名

### ダイコン

- ・桜島大根=大きなカブのような大根
- ・守口ダイコン=細長くお漬物用として有名



しかし、ほとんどの野菜は、サツマイモ、ダイコン、ナス、キュウリ、ホウレンソウ、レタスと店頭に書かれているだけで、実は、ナスの多くは千両2号という品種で、キュウリの多くは夏すずみという品種ですが、品種名までは誰も知らないことが多いようです。本当は、どの野菜も多くの品種があり、品種登録がされています。

### 野菜栽培には、品目ごとの品種の特性をよく理解して栽培することが重要です。

具体的には

#### ①栽培時期にあった品種を選ぶ。

品種によって、越冬する栽培での耐寒性、夏に向けての耐暑性などが異なります。例えば、春まきホウレンソウは春まき用の品種を選ばないと、高温・長日になると「トウ立ち」してしまいます。

秋まき春どりキャベツ、春まき夏どり大根などは、低温感応性の低い品種を選ばないと「トウ立ち」してしまいます。春まき用か、秋まき用かについて特に注意して品種を選びましょう。その品種に適した栽培時期はタネの袋に書いてあります。

#### ②同じ品目の中にも新しい食嗜好、調理法に向く品種が開発されたり、特徴ある品種が導入されたりしています。情報誌や種苗会社の専門カタログ、レストランなどで知識を広め、早めにタネを手配して、毎年少しずつ新しい品種に挑戦してみるのも良いでしょう。

#### ③日本原産、各地で栽培されてきた特徴ある在来品種があります。これらは日本の食生活にあった、上手な利用法と合わせて定着してきました。大量生産、流通には不向きでも家庭菜園なら十分楽しめる野菜は数多くあります。タネは旅行のときなどに地元の種苗専門店で立ち寄ってみるのも良いでしょう。

家庭菜園に関する相談は、営農経済センターのTAC(タック)までご連絡ください。